

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第49週の発生動向

全数報告の感染症 (49週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 1例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1例。
4類感染症：つつが虫病 6例。5類感染症：後天性免疫不全症候群 1例、梅毒 1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	女	肺結核	画像所見あり
3類	腸管出血性大腸菌感染症	中央	20歳代	女	患者	腹痛、発熱 O111(VT1,2産生)
4類	つつが虫病	宮崎市	70歳代	男	患者	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		都城	50歳代	男	患者	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		日南	70歳代	女	患者	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			80歳代	男	患者	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		小林	60歳代	女	患者	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			70歳代	男	患者	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	40歳代	男	AIDS	指標疾患：ニューモシステイス肺炎
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	—

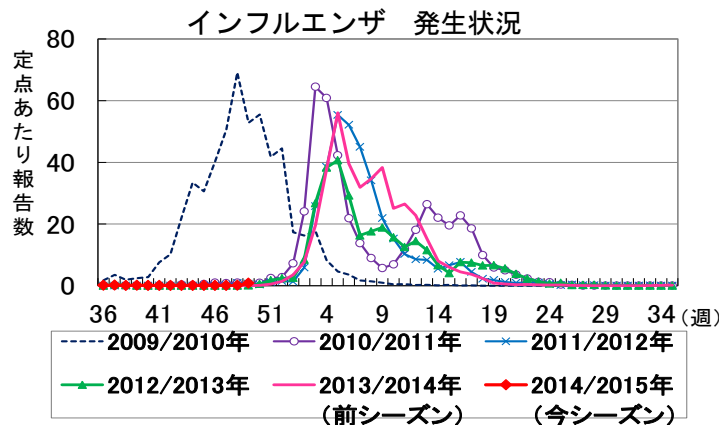
定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は834人(定点あたり24.6)で、前週比138%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱とヘルパンギーナであった。

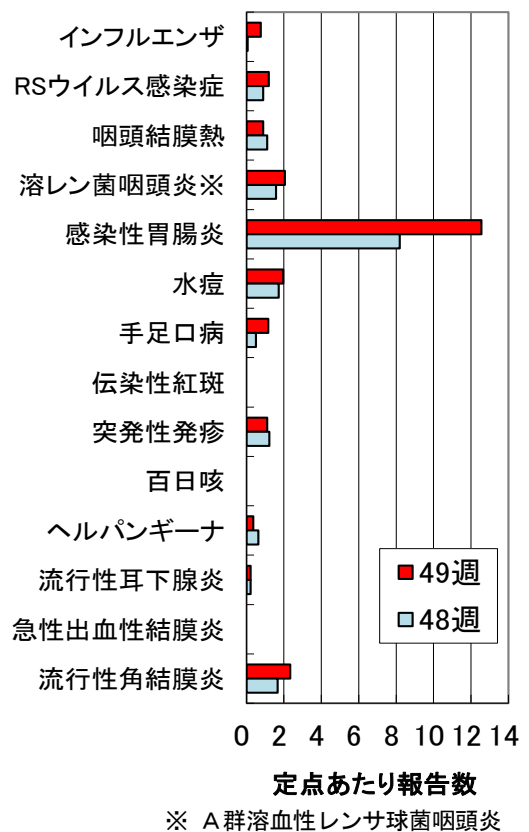
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

・報告数は45人(0.76)で、前週(0.07)と比較して増加した。年齢別では5歳以下が全体の18%、6-9歳が27%、10-14歳が31%、15-19歳が11%、20-59歳が11%、60歳以上が2%を占めた。



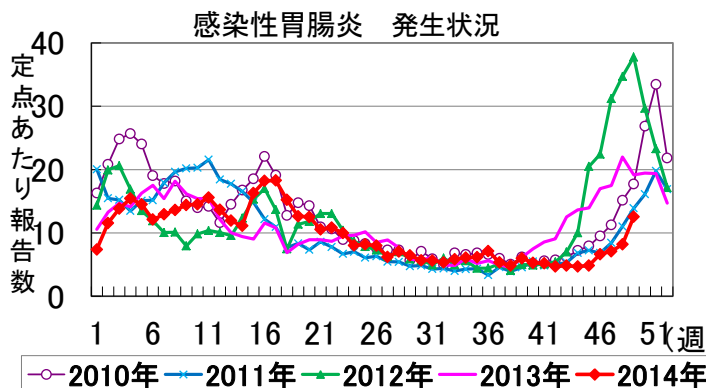
《前週との比較》



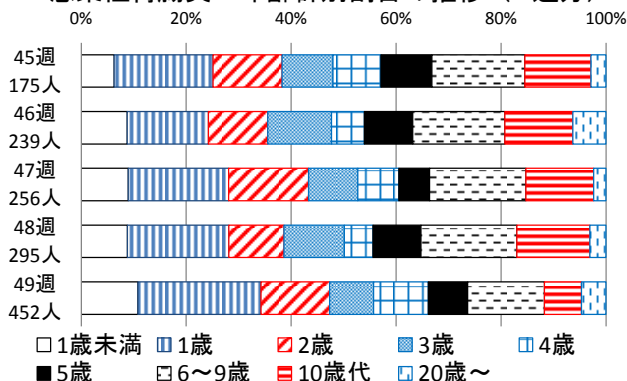
【感染性胃腸炎】

・報告数は452人(12.6)で、前週比153%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(18.8)の約0.7倍であった。小林(25.0)、日南(24.7)、中央(21.0)保健所からの報告が多く、流行警報開始基準値(20.0)を超えた。年齢別では1~2歳が全体の約4割を占めた。

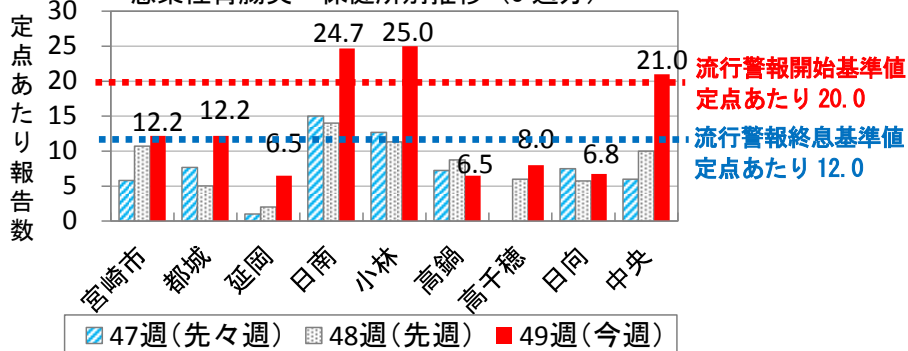
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



感染性胃腸炎 年齢群別割合の推移(5週分)

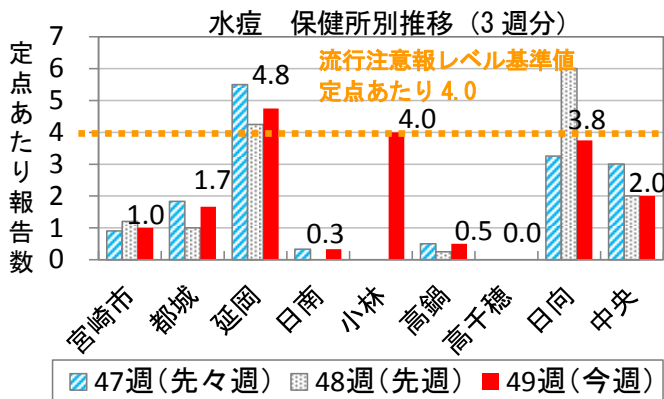
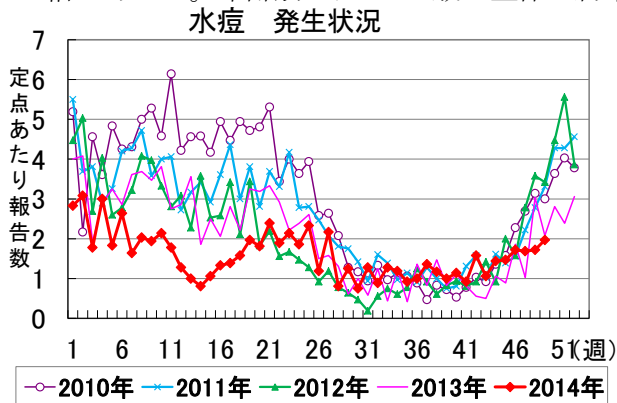


感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



【水痘】

・報告数は71人(2.0)で、前週比115%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(3.2)の約0.6倍であった。年齢別では1~3歳が全体の約半数を占めた。



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	水痘(4.8)
日南	感染性胃腸炎(24.7)
小林	感染性胃腸炎(25.0)、水痘(4.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	感染性胃腸炎(21.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

・感染性胃腸炎(20.0)

* 流行注意報レベル基準値*

・水痘(4.0)

🚩 全国第 48 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 48 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	268 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	22 例		
4類感染症	A型肝炎	1 例	つつが虫病	15 例	デング熱	2 例
	レジオネラ症	19 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13 例
	急性脳炎	4 例	クリプトスポリジウム症	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	12 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	25 例	水痘（入院例）	5 例
	梅毒	15 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん	2 例
	麻しん	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 106%とやや増加した。今週増加した疾患はインフルエンザと水痘で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は9,396人(1.9)で、前週比202%と増加した。岩手県(10.5)、福島県(6.4)、埼玉県(5.1)からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の約19%、6～9歳が27%、10～14歳が28%、15～19歳が5%、20～59歳が18%、60歳以上が3%を占めた。

水痘の報告数は3,680人(1.2)で、前週比106%とやや増加した。新潟県・山口県(各2.5)、山形県(2.1)からの報告が多く、年齢別では3～5歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第49週(12月01日～12月07日)

疾病名		第48週	第49週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	4	45	1	6		32	6				
	定点あたり	0.07	0.76	0.06	0.60	0.00	6.40	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	32	43	20	5	10	4	2	2			
	定点あたり	0.89	1.19	2.00	0.83	2.50	1.33	0.67	0.50	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	40	32	6	8	9	1		3		5	
	定点あたり	1.11	0.89	0.60	1.33	2.25	0.33	0.00	0.75	0.00	1.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	57	74	21	9	12	8	3	11		8	2
	定点あたり	1.58	2.06	2.10	1.50	3.00	2.67	1.00	2.75	0.00	2.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	295	452	122	73	26	74	75	26	8	27	21
	定点あたり	8.19	12.56	12.20	12.17	6.50	24.67	25.00	6.50	8.00	6.75	21.00
水痘	報告数	62	71	10	10	19	1	12	2		15	2
	定点あたり	1.72	1.97	1.00	1.67	4.75	0.33	4.00	0.50	0.00	3.75	2.00
手足口病	報告数	18	42	9	11	1	12	2	3	1		3
	定点あたり	0.50	1.17	0.90	1.83	0.25	4.00	0.67	0.75	1.00	0.00	3.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	44	40	13	3	7	3	5	4		3	2
	定点あたり	1.22	1.11	1.30	0.50	1.75	1.00	1.67	1.00	0.00	0.75	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	23	13	3		2	3		5			
	定点あたり	0.64	0.36	0.30	0.00	0.50	1.00	0.00	1.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	8	8		4	2					2	
	定点あたり	0.22	0.22	0.00	0.67	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	10	14	12	1	1						
	定点あたり	1.67	2.33	4.00	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～49週)

2類感染症	結核	232例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	30例(1)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	16例(6)	日本紅斑熱	5例	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	13例				
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム腸内細菌感染症	3例
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	13例(1)	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	11例	梅毒	11例(1)	破傷風	1例
	風しん	3例	麻しん	4例		

()内は今週届出分、再掲